

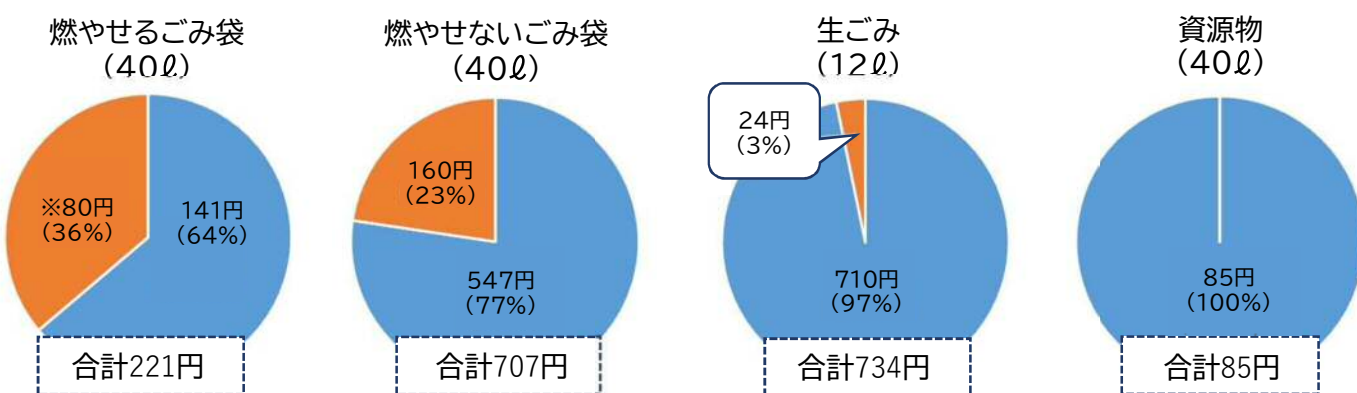
## ごみ処理の経費、

# いくらかかるかご存じですか？

家庭ごみの処理は、ごみを収集して燃やせるごみは焼却、資源物はリサイクルセンターで仕分け、燃やせないごみは最終処分といった、それぞれの施設で様々な処理を経て適正に処理するためにたくさんの経費が掛かっています。また、昨今の物価高騰や施設の老朽化に伴う修繕費や管理運営に係る人件費の上昇など、今後のごみ処理経費は増加していくと推測されます。

ごみ処理経費は市民のみなさんからいただくごみ処理手数料(有料指定ごみ袋)と税金などで賄われていますが、ごみ処理経費について実感していただくために、ごみ処理の経費についてご紹介します。

### ごみ袋1袋あたりの処理経費について(R3年度)



■ 税等負担 (処理ごみ処理経費のうち、市の税金等により賄われている割合)

■ 手数料負担 (処理ごみ処理経費のうち、有料指定ごみ袋の売上で賄われている割合)

※令和3年度までの燃やせるごみ袋の価格は2円/ℓ

上の円グラフは、ごみの区分ごとのごみ袋1袋あたりのごみを処理するのに必要な経費を示しています。資源物は無料なので、100%税等での負担となっていますが、有料としている燃やせるごみ・燃やせないごみ・生ごみについても、税等の負担が大きな割合を占めています。

### 家庭ごみ処理全体の経費について (R3年度)

	経費種別	金額 (概算)
支出	ごみ収集(ごみ袋製造費含む)	4億6,900万円
	生ごみ処理施設運営管理費	3,500万円
	焼却施設運営管理費	3億5,300万円
	リサイクルセンター運営管理費	9,700万円
	ごみ処理場運営管理費	5,500万円
	その他管理費※	5,300万円
	【支出合計】	10億6,200万円
収入	バイオガス売払い収入	2,400万円
	資源物の売払い収入	3,600万円
	【収入合計】	6,000万円
	【処理経費の合計】 (支出-収入)	10億200万円

家庭ごみ全体の処理経費は10億2000万円で、恵庭市民(約7万人)1人当たりの負担額は年間約1万4千円になります。また、全体の処理経費からごみ袋の売上等の手数料収入1億8,500万円を差し引いた、8億1,700万円が「税等負担」となります。



※集団資源回収奨励金、ボランティア袋回収や不法投棄パトロールに掛かる費用、職員人件費など。

発行: 令和5年3月

お問合せ先

恵庭市役所 生活環境部 廃棄物管理課

☎33-3131 (内線1131、1132、1135)

Mail: haikibutsu@city.eniwa.hokkaido.jp

## 第8回

# ごみ減量大作戦!!

ボランティア袋回収依頼  
不法投棄の通報

オンライン受付 始めました

恵庭市のまちがきれいなのは、市民や様々な団体の皆様の積極的なボランティア清掃や美しいまちにしようという郷土愛の意識に支えられているからです。

これまで、公共用地などをボランティアで清掃していただいた方に対して、市ではボランティア袋を無償で配布し、集めたごみは、直接市に電話等で連絡をしていただくことでごみを回収していました。

今回、きれいなまちづくりに取り組んでいただいている市民の皆様の利便性を向上すべく、ボランティア袋の回収依頼や不法投棄の通報を電話連絡することなく、24時間いつでもどこでも簡単に連絡が出来るように、オンラインでの受付を始めました。市役所の開庁時間に制限されることなく、スマートフォンから連絡が出来ますので、是非ご利用ください!

いつでも♪

どこでも♪

オンライン申し込み受付中



▶ ボランティア袋回収依頼はコチラ



▶ 不法投棄の通報回収依頼はコチラ



### ■ ボランティア袋回収依頼の流れ

Step1

■個人  
ボランティア清掃を完了する日までに依頼。  
■団体  
ボランティア清掃を行う3日前までに依頼。

Step2

二次元バーコードを読み取り、回収フォームに「連絡先」、「ごみ集積場所」、「回収希望日」などを入力。

Step3

依頼完了!!



### ■ 不法投棄の通報の流れ

Step1

不法投棄を発見したら写真を撮る。(個人の敷地内はご自身で処理してください)

Step2

二次元バーコードを読み取り、回収フォームに「連絡先」、「不法投棄の場所」、「ごみの状況」を入力。現場の写真ファイルも併せて添付する。

Step3

依頼完了!!



市が確認・対応しに行きます!





# ゴミヲシル。

## えっ! ? 私たちのごみを漁っているの?

恵庭市では今年度、ご家庭や事業所から発生するごみの中身を調査しました。

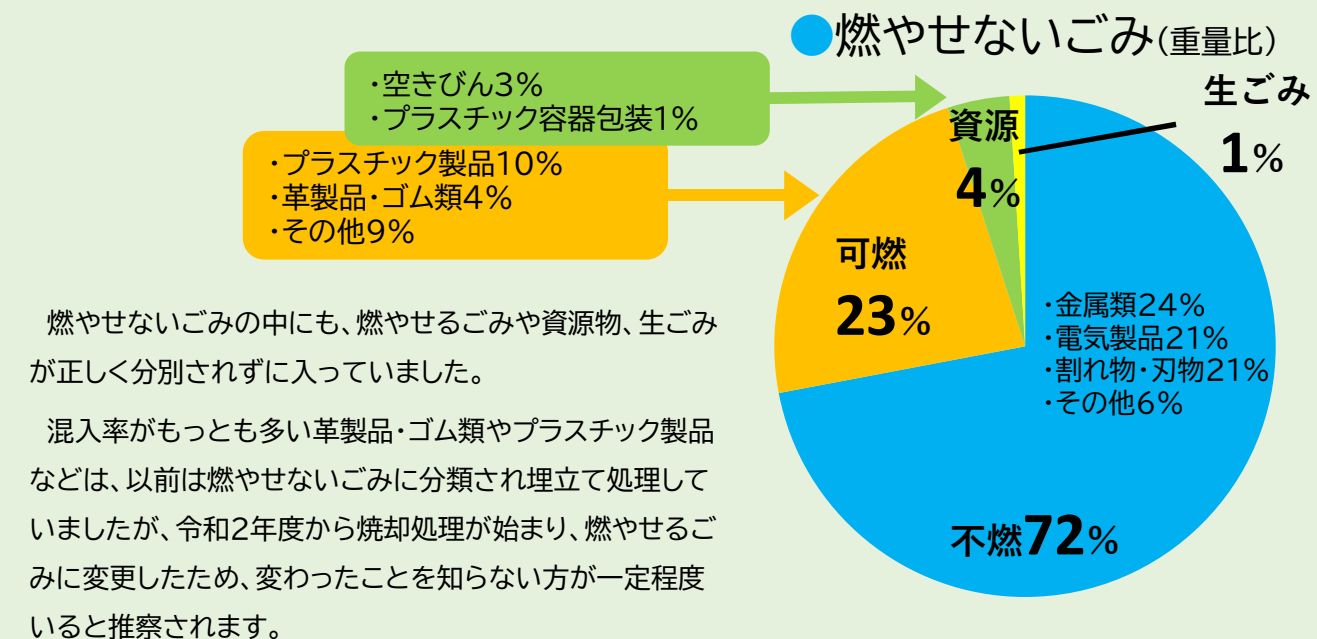
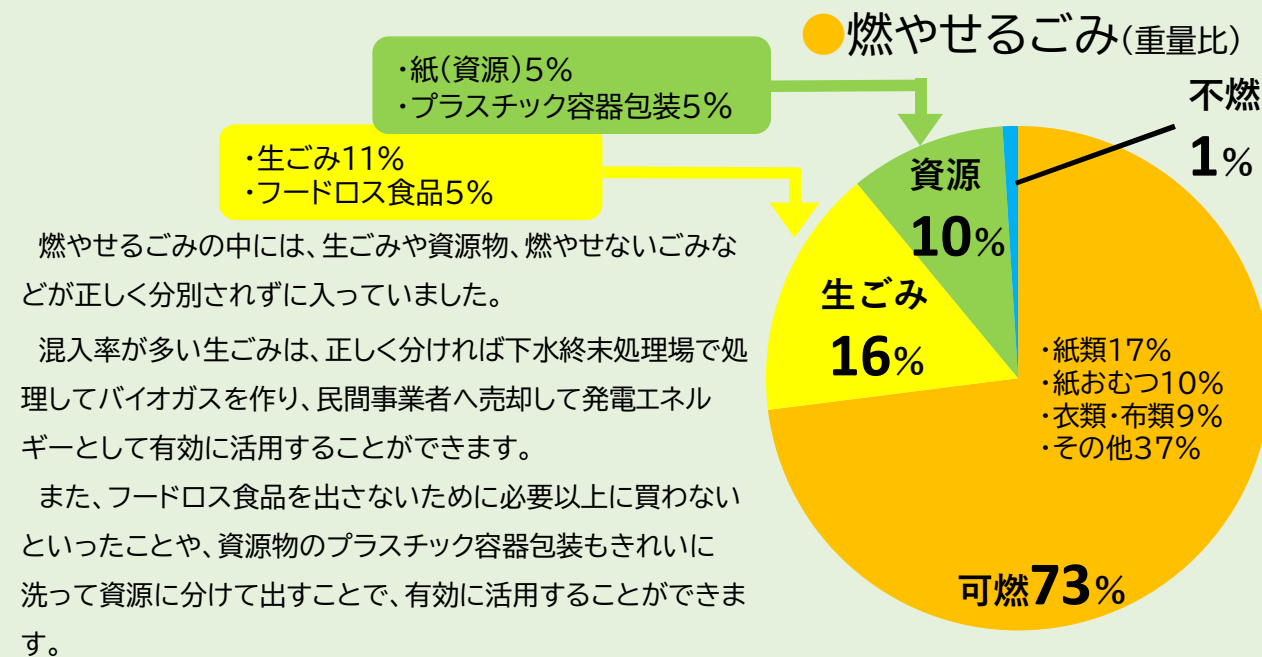
「気持ち悪い。やめて。」と思われた方もいるかと思えます。しかし、ごみの中身(組成)を知らなければ、ごみの減量化、再使用、再生利用の推進のため、分別マナーの啓発を市民の皆様には詳しくできないのです。

また、ごみ処理経費の一部として市民の皆様からごみ処理手数料をいただいております。手数料を算定するための根拠とする基礎データを収集して、時代とともに変化のごみ質を調査する必要があります。

そこで、今回はご家庭から出た「燃やせるごみ」と「燃やせないごみ」の中身を知り、市民の皆様と共有することにより、日頃の分別に生かしていただければと思います、ご紹介させていただきます。



## 令和4年度 家庭ごみの組成調査結果(速報)



また、電気製品の小型家電製品のうち、資源として有効活用できる品目は市役所の窓口で無料で回収していますので、持ってきていただければ資源として有効に活用することができます。

恵庭市の令和2年度の1人1日当たりの家庭ごみの総排出量(資源物含む)は599gになっていますが、それぞれ正しく分けて出して、ごみの発生を抑制することで、家計の節約やごみ処理手数料の負担軽減ができます。また、分けられた資源や作られたエネルギーを売却してエネルギーとして有効活用するという環境負荷の低減や、その収益を市の収入としてごみ処理経費に充てることができるなど様々な効果があります。

現在のごみ処理手数料は、「資源物は無料」「生ごみは2円/㍻」「燃やせるごみは3円/㍻」「燃やせないごみは4円/㍻」として、正しく分ければ、ご家計にやさしくなる仕組みになっていますので、ごみの発生抑制や減量、資源化などに継続して取り組み、限りある資源を未来に残しましょう。